

企画建設常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和5年6月15日（木） 第3委員会室
2. 出席委員 吉川遂也委員長 藤原洋二副委員長 堀井秀昭 徳永泰臣 近藤久子 政野太
松本みのり
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 横山和昭議会事務局議事調査係長
5. 説 明 員 なし
6. 委員外議員 なし
7. 傍 聴 者 なし
8. 会議に付した事件
 - 1 陳情第13号 国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書
 - 2 所管事務調査について

午前9時55分 開 議

○吉川遂也委員長 ただいまから企画建設常任委員会を開会いたします。傍聴、録音、写真撮影、録画を許可いたします。

1 陳情第13号 国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書

○吉川遂也委員長 本日の協議事項は2点です。まず1点目、陳情第13号、国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書についてお諮りをしたいと思います。モアノートの中に、内容については記載があると思いますので御確認いただければと思います。このインボイスの意見書等につきましては、昨年度の9月定例会で企画建設常任委員会から意見書を提出し、可決されております。その点を踏まえ、今回については聞き置くとしてよろしいのではないかと思いますけれども、皆さんの御意見をお願いいたします。よろしいでしょうか。副委員長。

○藤原洋二副委員長 少し気になるのが、陳情団体のインボイス制度を考えるフリーランスの会というのは、どういった会なのか、事務局のほうで若干わかりますか。

○吉川遂也委員長 事務局。

○横山和昭議会事務局議事調査係長 申し訳ありません。陳情者の情報については持ち合わせておりません。

○吉川遂也委員長 ほかにありますか。堀井委員。

○堀井秀昭委員 インボイス制度については、庄原市議会としても意見書を可決して、10月からの施行で、もう間際になってきている。それから意見書が特に採用されたわけではないと思いますけれども、問題点について国もある程度の配慮を見せた制度をつくってきている。今の時期に地方議会として取り組むことは既にあるのではないかと思います。

○吉川遂也委員長　ほかにございませんか。では皆さんの御意見を踏まえまして聞き置くしたいと思います。

2 所管事務調査について

○吉川遂也委員長　次に協議事項2点目、所管事務調査について、でございます。過去の所管事務調査の一覧につきましては、モアノート中でございます。提案といたしまして、まず2項目ぐらいを先に集中的に審議をするような方向でいかかかと考えておりますけれども、所管事務調査に当たる内容について皆さんから御提案があれば、挙手にてお願いいたします。近藤委員。

○近藤久子委員　企画建設が初めてなのでじっくり今読ませていただいているのですけれども、大変多くのことをされております。その中で新しくやりたいのが、自治振興区そのものの組織が誕生して18年。市民と語る会とか議会報告会の中で度々出ていたのが、職員の処遇の問題であるとか、本当に地域が疲弊する中で、それは人口減少もあるのですけれども、役員の成り手不足、事務局の成り手不足。事務局員というのはもちろんお金の計算もあるのですけれども、幅広いニーズに応えるための、いわゆる人材が不足しているのではないかと。大体計画というのは、5年10年15年20年で見直していくものが大体普通ではないかと思うのですけれども、自治振興区の実態を踏まえる中で、今後の在り方について。それは地域づくりにつながっていくものだと思うのですけれども、閉会中の審査項目として取り上げていただければと私の意見を述べさせていただきました。

○吉川遂也委員長　ほかにありませんか。徳永委員。

○徳永泰臣委員　自治振興区の人材の問題なのですけれども、事務局長などいい人材に来てもらおうと思ったときに、17万円で雇用しようというのは難しいかと思えます。再任用などの場合でも20何万ですか、恐らく二十七、八万ぐらいもらえるのではないかと思うのですけれども、それを蹴って自治振興区へ来てくれと言っても、なかなか難しい問題だと思うのです。ですから人件費も含めて、自治振興区の在り方をもう一度考えたほうがいいのではないかと思えます。

○吉川遂也委員長　ほかにありますでしょうか。松本委員。

○松本みのり委員　桜花の郷ラ・フォーレについてはしっかりと自走できるまで、この議会としても見守っていく必要があると思えますので、ぜひ所管事務調査に入れていただけたらと思っております。

○吉川遂也委員長　ラ・フォーレについては、既に指定管理という制度で入ってくるので、例えばどの点ですか。指定管理業者の自主運営にかかわらない部分というところになるのか。指定管理業者の自主事業については、市、あるいは委員会から、余り口出しをしないほうがよろしいのではないかと。いう方向性で昨年度の委員会をまとめたと思っておりますのですけれども、ラ・フォーレのどういう点を所管事務調査に入れたいというお考えでしょうか。

○松本みのり委員　経営的な数字を見ていく。

○吉川遂也委員長　観光振興に入る部分になるのか。堀井委員。

○堀井秀昭委員　自主事業部分へ議会が事務調査を持つことはできない。それから施設の整備等に関することが中心になっていくのだけれど、指定管理施設はラ・フォーレだけではない。ラ・フォーレだけを特に取り上げなくても、松本委員が言われたようなことなら、一般の議会での予算での質問等で十分対応していける内容だと思うので、事務調査項目へ入れるのなら全体を取り組まないといけない

のではないかと。ラ・フォーレだけを特定することはいかなものか。

- 吉川遂也委員長　　今、堀井委員からもありましたように、例えばラ・フォーレではなくて指定管理事業ということで、観光面、商工観光に関わる部分で、広くなるのですけれども、そういうふうを持っていくかどうかという点について意見ををお願いします。松本委員。
- 松本みのり委員　　市が施設を購入して指定管理を新たにつくったというところを取り上げたいと思ったのですが、堀井委員がおっしゃるように指定管理の施設全般についてどのような状況かというのを一度見ていくのも必要かと思えます。
- 吉川遂也委員長　　藤原副委員長。
- 藤原洋二副委員長　　堀井委員がおっしゃったように、指定管理についての総括は総務委員会が所管しております。この企画建設でいうと、観光などという点に絞る必要が生じますので、私も今回は、この委員会で事務調査に入れるのはどうかという気がしております。
- 吉川遂也委員長　　つけ加えますと、指定管理の中でも、恐らく自主事業の部分は踏み込むことができない。その指定管理は枠が結構大きくなって、しかもプラス観光面というところで限ると、例えば道後山高原荘であるとか、鮎の里であるとか、指定施設に限られてくる。調査項目に挙げられたほうからしたら、何か問題があるのかと思われるかもしれない。どういう問題意識があって所管事務調査に入れるのかを明らかにされたほうがいいと思います。具体的に観光面でさらに踏み込んでどういうテーマで、どういう帰着点を求めるかというところの意見があればお願いします。徳永委員。
- 徳永泰臣委員　　前回の委員会の中でラ・フォーレのことがあったと思うのですが、どのような内容での調査をされたのですか。参考のために。
- 吉川遂也委員長　　指定管理をしてもいいかどうかと、指定管理をするのであればどういう方策がいいか。例えば公募による方法がいいのかというような調査をしたと記憶しています。ほかに、担当課からどういう施設整備をするのか、緊急修繕カ所はどのようなところがあるのかというところは、視察に行ったりはしました。堀井委員。
- 堀井秀昭委員　　公募によれという提言をしてきた。そのところが中心だったと記憶している。けれども、執行者は公募によらずに指名でいった。ただね、議会の採決でも、私は反対に回ったような記憶があるが、何対何だったかというのは記憶にない。指定管理者の指定の議決はもう済んだので、そのところの調査はもうない。
- 政野太委員　　これまでに令和3年度4年度にも、この桜花の郷ラ・フォーレ庄原についてという調査項目を入れて、一定の答えを3月に委員長報告という形で出させてもらっております。さらにそれにつけ加えて、何か企画建設常任委員会で取り組むべき事項があればですが、私はある一定程度の答えをこのときに出させてもらっていると思うので、今回あえてラ・フォーレ庄原を入れる必要はないのではないかと思います。
- 吉川遂也委員長　　ラ・フォーレ庄原に限定すると、難しいという総意ではないかなと思うのですが、例えば先ほど指定管理という部分がありました。観光面に限定して、しかも自主事業を除いた指定管理は私個人的には難しいかと思うのですが、皆さんの意見はどうでしょう。政野委員。
- 政野太委員　　指定管理という着眼点でいくと、やはりうちの委員会の所管ではない。
- 吉川遂也委員長　　ほかにありますでしょうか。1点、自治振興区役員の成り手不足と組織体制、あるいは私も個人的にはつけ加えて自治振興区の在り方と、例えば、今、自治振興区の取り組みはかなり

硬直化している感じもありますので、新たな取り組み等をされているところがあれば参考にすることもできるかと思います。ラ・フォーレと指定管理の部分は意見が出ましたけれども、採用できないと思いますので、その他。藤原副委員長。

○藤原洋二副委員長 先ほど出ました自治振興区なのですがけれども、高野の実態も踏まえてお話しさせていただくならば、徳永議員おっしゃったように、役員といいますか、事務局長が上高には2年間いなかったという状況もございます。自治会につきましても、組織運営が役員も含めてうまくできないということから、私の地域なのですがけれども、自治会の合併を進める形で、スタートをいたしました。そういう状況もある中で、人口減少等に起因した少子高齢者の世帯が多い中で、若い世代がぼつぼつといえるのですが、今の庄原市の状況からするともう少し動ける体制をとる必要があるのではないかと。今勉強させていただいているのは、法人格をとってそこらを活用するという。特に災害等で単独改良等が実施されない状況で、建設会社も手いっぱいの中で、草刈り等の業務委託があるわけです。工業者が災害を抱える中で草刈り等もやっていくような状況なので、何とかしたいということがあります。あと1点の項目としては、本市のDXの推進について取り上げてみたいと感じております。なぜかと言いますと、全国的にDXの取り組みは行われているわけなのですが、本市の予算を見ても、やはり弱い項目しかないので、基本的な方針を持って進める必要があるのではないかと考えております。皆さんの意見を聞きたいと思います。

○吉川遂也委員長 政野委員。

○政野太委員 自治振興区、今3人の委員から提案がありましたけれども、どの視点も必要な視点だと思うのですが、ただ、すごく広いのです。それを絞らずに自治振興区の在り方についてという表現にすると、問題提起のようなことになってしまうのですが、何かこう事業を絞ったほうがいいのかということにはならないですか。例えばその人材については、予算はどういう事業か、今わかりませんが、そこについてとか少し絞ったほうがいいのかと思いますけれど。

○吉川遂也委員長 先ほど自治振興区の在り方についての話の中で、人材育成に方向するのか、あるいは事業を限定して討議するのがいいのかという提案がありましたけれども、御意見があれば。近藤委員。

○近藤久子委員 閉会中の審査項目ですから、10日間とか1か月で結論を出すことではないです。先ほども言いましたように、18年間の中で、様々な動きがある中で、先ほど副委員長がおっしゃったように、実態を踏まえる中で本当に在り方については、もちろん報酬の面もあるだろうし、いろんなことが出てきているのではないかと思います。絞らずに。

○吉川遂也委員長 市民と語る会の中でも、自治振興区の人材不足であるとか組織運営の在り方等についてはかなり問題提起をされている部分があります。そういったところも踏まえて、例えば、自治振興区の役員の方を呼んで、実態を聞くであるとか。その中で問題提起があつて、そのことに絞って検討していくという方式もできるかと思います。何かほかにも御意見がございますか。堀井委員。

○堀井秀昭委員 いいと思うのだけれども、どういう表現で書くのか。

○吉川遂也委員長 何かアイデアがあれば、一つは自治振興区の在り方等については、あってもよろしからうという方向だと思いますので、提案の仕方についてアイデアがあればお願いしたいと思います。では一旦、委員長副委員長で持ち帰らせていただいて本定例会中に一度委員会を開催させていただきまして、最終案を提示したいと思います。よろしいでしょうか。2点ぐらいの事務調査報告にする

か。堀井委員。

- 堀井秀昭委員 林業関係の一つ入れてもらえませんか。
- 吉川遂也委員長 具体にどのような内容でしょう。
- 堀井秀昭委員 前回で言えば、林業振興、林業施策についてとかと大きくくくった。私が気になるのはアンケート調査の結果に対する行政施策の対応がいまだに何も行われようとしてないというところ。
- 吉川遂也委員長 徳永委員。
- 徳永泰臣委員 林業振興になると思うのですが、カーボンニュートラルとかJ-クレジットとかいう問題があると思うので、含めて、どんなものかということから始めて、考えていかないといけないのではないか。よそは進めていっている。
- 吉川遂也委員長 令和元年から2年度で森林環境譲与税関連施策というのが上がっております。一旦その意見書を確認して、再度調整が必要かなと思いますので、中身については林業施策について、徳永委員からあったようにGXであるとか、カーボンニュートラルであるとかという部分が、最近の施策に入ってくるのかと思いますので、それを含めたものということ意見を承りたいと思います。今ありましたように、林業施策とDX推進というのがありますが、三つにするか、どちらかをとるかというところは、いかがいたしましょう。堀井委員。
- 堀井秀昭委員 上限が定まっているわけではないのだから、三つでもいいのではないかな。
- 吉川遂也委員長 きよねん結構多くあって大変だったのもありますし。
- 堀井秀昭委員 3本ぐらいはいいのではないかなと思う。
- 吉川遂也委員長 という意見がございしますが、いかがでしょう。よろしいですか。ほかに意見ございましょうか。藤原副委員長。
- 藤原洋二副委員長 この項目を見ますと、元年から2年の6本の最下段の東城久代の地域の国道182号についてというようなテーマがあるのですが、こういった個別の案件も対応してきたということでもよろしいのですか。どういった内容かわかりませんが。
- 吉川遂也委員長 堀井委員。
- 堀井秀昭委員 請願が出たのだと思う。それで現地視察を行いました。東城から新見へ行く途中で、2車線の道路がほとんど1車線に近いぐらいになって、芸備線の下を通らないといけないところがある。通学路にもなっていて、歩道もそのところだけが途切れていたのかな。歩道は続いているのか。その請願が出たので。陳情かもしれない。一つの項目として挙げたのは、このときはたしか林委員長だったと思う。
- 政野太委員 これはこういう形で上がったのですが、それならうちのトンネルもやってくれというような意見も出たりして、一定的な考え方の整理をしたような記憶があるのですが。
- 吉川遂也委員長 その件について意見書の総括を見ますと、令和3年に広島県の道路整備計画が改定されるこの機会に、ぜひとも当該道路の改修工事が計画計上されるよう市議会として関係機関とともに県に強く要望していくというまとめで、調査を終わっております。堀井委員。
- 堀井秀昭委員 まとめ方がないからそういうまとめになった。閉会中の所管事務調査は基本的には個別の案件に絞るべきではないと思う。そのことは前回は協議をしたような気がするが、これは多分、委員長の強い希望で残ったように思う。だから、まとめとしては先ほど委員長が言ったようなまとめ方しかできない。工事にしろ何にしろ、庄原市議会や庄原市がかかわるものではない。国道だから。

- 吉川遂也委員長 では、一定の方向性として自治振興区等の在り方が1点。DXの推進が1点。林業振興について1点という3点が上がりましたがけれども。政野委員。
- 政野太委員 これまでの経緯で農業をしないのはどうなのだというのがいつも出てくる。林業が今回入りましたが、農業と観光と毎回それが議論出てくる。それはこれを整理しながら、また次の視点で加えていくという考え方でいいですよ。
- 吉川遂也委員長 副委員長。
- 藤原洋二副委員長 庄原市の人口も3万人というような状況の中で、単独市制を施行しているわけですが、一つの行政として、各システムを単独で整備している状況があるわけです。それは、税にしても、土木の積算にしても、全部なのですけれども、このあたりの経費が相当高くついている状況にあらうかと思えます。私的にも調査をかけようかと思うのですが、できれば、近隣市町との連携とか、県下での統一とかいうところも踏まえて、本市の財政に少しでも寄与できるかなというところを調査しようと思うのですが、もし、そこらの状況にありましたらまた提案させていただきますのでよろしくお願ひします。
- 吉川遂也委員長 政野委員。
- 政野太委員 これからまだ委員会もあるし、それから9月定例会もあるし、そのときに急遽追加すれば委員会での研修であったり視察であったりは可能ですが。そういったところに行くときにも、この項目の中でいくのは、特に問題ないですけれども、そこらが想定されるのなら、そういう項目も入れておかないと。ここ何年か、突然降って湧いたように入れて行くみたいなことになっているので、そのあたりも検討は必要かと思う。
- 吉川遂也委員長 特に、先に研修先を決めての提案でもないの、まず、今、出た件について研修あるいは先進地視察ができるような状況があれば、事務局と協議をして提案をしていきたいと思ひます。まずこういう事例があつてということがあれば、また委員会等で発言をいただければ、それをもとに検討させていただきたいという方向でよろしくお願ひします。では先ほど言ひましたように、3点について、文の書き方であるとか提案の仕方につきましては、本定例会中に再度、委員会を開催して最終的に承認をいただくようになると思ひますけれども、そういうことでよろしいでしょうか。次回の日程ですけれども、いつがよろしいでしょうか。一般質問が26日27日28日とあります。
- 堀井秀昭委員 どこかの一般質問が済んだ後ぐらいに入れても十分なのではないか。
- 吉川遂也委員長 26日で事務局大丈夫ですか。では26日の本会議終了後に委員会を開催する予定として、皆さんに御案内をしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。では、本日の企画建設常任委員会が全て議了いたしましたので、散会いたします。ありがとうございました。

午前10時28分 散 会

庄原市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名する。

企画建設常任委員会

委員長